

建築士 おおた

秋季号

2019 NO 123



公益社団法人 大分県建築士会

CONTENTS

01 全国青年委員長会議参加報告	青年委員長 首藤 顕道
03 公益事業の成果	佐賀関支部 嵯峨 彰仁 玖珠支部 尾方 秀則 臼杵支部 梅田 雅也 別府支部 幸 孝文 高田支部 清末 幸生
10 インフォメーション (支部便り)	宇佐支部 光井 智
11 建築士の集い参加報告	宇佐支部 渡辺 賢一
13 全国大会参加報告	別府支部 籠田真一郎
14 我が街の建築士紹介	津久見支部 福岡 里予 佐伯支部 高橋 俊朗 佐伯支部 松岡 豊 臼杵支部 戸上 新次 臼杵支部 高野 晃 臼杵支部 三重野 豊 臼杵支部 柴北 友輔
16 マイワーク	中津支部 尾垣 俊夫 宇佐支部 椛田 康一
18 マイベストブック	別府支部 中原 健 別府支部 小山 秀輝 大分支部 工藤 賢也 大分支部 高橋 大介
20 我が街紹介	高田支部 後藤 憲二 臼杵支部 小代 宏幸
23 マーボアの旅先日記	会 長 井上 正文
25 事務局だより	大分県建築士会事務局



■ 表紙説明 ■

表紙の写真

大分アートプラザ (旧大分県立図書館)

設計：磯崎新

令和元年度 全国青年委員長会議参加報告

青年委員長 首藤 顕道

去る3月2～3日の2日間に渡り、平成30年度全国青年委員長会議が開催された。昨年に引き続き2度目の会議参加である。

今回の会場は東京建築士会である。グーグルマップを片手に東京駅から歩いて目指す。東京駅から歩いて行けるとはなんとなくすごい感じがする。

今年も全国から多くの参加者が集まっている。定刻の午後1時より、開会の言葉、綱領唱和に続き、連合会の川嶋委員長による主催者挨拶、三井所会長による会長挨拶が行われ、早速メインの企画であるワークショップが始まる。



今回のワークショップは『僕らが考える明日、10年後の建築士』と題し、10年後の建築士・建築士会のあるべき姿（ビジョン）を実現するため、全国共通で行うべき以下の4つのアクションプランを決定することを目的とする。

- ・ 建築士の資質、人間的な成長
- ・ 建築士の報酬
- ・ 建築士の労働環境、働き方
- ・ 建築士の社会的な評価

6人程度のグループに分かれ、グループ毎に決められたテーマについてディスカッションを重ねていく。私の入ったグループのテーマは『建築士の社会的な評価』であった。

そもそも建築士という資格・職業が社会的に評価されているのかという大前提からの議論となる。こういった議論でよく言われる医師や弁護士と比べると評価されていない、という意見。では医師や弁護士は本当に評価されているのかと質問が出

ると、誰もはっきりとは答えることができない。逆に「建築士」と名乗るだけですごいですね、という言葉をかけられることもあるという。このような場合の「評価」というのはあくまでもイメージ先行であるようで、今回の議論にはあまり意味をなさないのではないかと感じた。



東日本大震災をはじめ、日本では様々な災害が起こっている。このような災害時に活躍できることこそ社会的な評価につながるのではないかという意見もあった。災害時のボランティア活動や、防災に関する講習や勉強会等、建築と災害は切っても切れない関係にあり、この点はおおいに同意できた。

個人的には建築士もビジネスである以上「お金」を評価と捉えてもよいのではないかと思う。その仕事に価値があり、評価されているからこそ「お金」をもらうことができるという考え方もひとつの真実であると感じている。



各グループでそれぞれのテーマについて議論し、その結果を発表する。

「Youtuber建築士」や「AIの導入」など時代を反映させたような意見や、少子高齢化社会を意識してか次世代に向けての活動などが多く発表され、非常にバラエティに富んだものとなった。

最後に4つのアクションプランのまとめをし、いずれかひとつを各単会で必ず実行するという約束をして初日のプログラムは終了となった。活動内容はハッシュタグをつけてSNSで発信することという条件がつけられ、どの単会が実行したかはすぐにわかる仕組みになっている…

初日はここで終了となり、懇親会へ向かう。

今年はプレゼント交換の時間があり、九州ブロックからは各県からご当地Tシャツを持ち寄った。なかなか好評だったようで全てのTシャツがあったという間に無くなったようであった。ちなみに大分からは真っ赤な「毎日が地獄です」のTシャツを持って行った。

二日目は「防災ワークショップ～リーダーとして引出しを増やそう～」と題し、防災塾・だるまの白田克雄氏と中村俊光氏を講師に迎えてのワークショップである。

災害時に実際の避難所での経験をゲーム形式で伝えてくれる。

例えば自分の立場を「避難所の責任者」であるとか「いち避難者」として仮定をし、様々なシチュエーションでどう行動するべきかを答えていく。そして何故そうであるべきなのかを、実例を挙げながら解説をしてくれるため、非常にわかりやすいワークショップであった。

そして実際に災害にあった時、リーダーとして



の感性を磨くことの重要性を語ってくれた。

気づき、行動力、戦う勇気、ぶれない信念等、大切であるというキーワードと共にワークショップは終了した。

最後に川嶋委員長から閉会の挨拶があり、集合写真を撮影して会議は終了した。

今回、2度目の全国青年委員長会議ということで全国に顔見知りもでき、少しリラックスして参加できた。諸先輩方もこのような出会いを経験しながら今も交流を続けられているのだなあと思うと、今この出会いの大切さを感じる。

また、毎年このような会議やワークショップを準備して頂いている連合会役員にもこの場を借りて感謝を申し上げたい。



来年の全国青年委員長会議は初めて東京ではなく地方で開催されるという。また違った苦勞もあるであろうが、新しい取り組みを応援したいと思う。

佐賀関支部 嵯峨 彰 仁

「大黒地区海岸清掃と空き家調査」

佐賀関支部では2019年7月28日(日)に、日本文理大学の「地(知)の拠点整備事業」に相乗し、佐賀関の大黒地区の集落調査を行った。

「地(知)の拠点整備事業」は同大学が地方公共団体や企業等と協働して、「学生にとって魅力ある就職先」を創出し、「地域が求める人材を養成する」ために大学の取組を支援する事業であり、今回は大学、NPO法人彩々カフェ、関崎海星館、建築士会佐賀関支部が協働し、佐賀関大黒地区の海岸の清掃活動、及び集落内の建築物の特性や空き家調査を行った。

(この大黒地区の海岸は黒ヶ浜とも呼ばれ、蛇紋岩と呼ばれる黒い石のために、海岸が黒く見えることが特徴で、日本の渚百選に選ばれている。)



まず清掃活動が関崎海星館主幹で行われ、一般の参加者も加わり約50名で実施された。当日は梅雨が明けたばかりの猛暑で、さらに黒い浜が暑さを倍増。熱中症に注意しながら約20袋分のゴミを分別回収し、また散乱していた大きな流木を拾い集めた。細かな木端までは集められなかったが、散乱したゴミや流木を回収したことで、黒い部分がより黒く映える本来の海岸に近づいたのではないかと思う。



清掃活動と水分補給が完了し、暑さへの諦めと覚悟がついてきたところで、建築士会が主幹となり、日本文理大学建築学科の1回生25名と共に、大黒地区の建築物調査を行った。1回生にもわかりやすく興味を持ってもらう為、調査は空き家状況の確認と、建物の用途・階数・構造・特性・持主を調査することとした。

25名を5班に分け各班毎に調査範囲を決め、建築士会のメンバーが引率する。大黒地区は小さな漁村集落で、狭小な路地や畦道に沿って建物が隣接し、また斜面や境界塀に石垣が使われており、調査が始まると学生から「鬼ごっこできるやん」「迷路みたい」「こんな奥にどうやって家建てるん」などの声上がる。個別の建物よりも集落全体の雰囲気に興味が出てきたようで、各班の調査範囲を超えて、ほぼ全員が集落を一周し、調査完了といった状況になった。



調査結果としては、集落内の建物全37棟（住居14棟・倉庫等23棟）、（木造17棟、RC造12棟、ブロック造6棟、プレハブ2棟）、空き家2棟、空き倉庫2棟であった。集落の建物分布は、主に住居に付随して倉庫があり、農漁業の作業用倉庫が点在する配置となっている。また住居の構造形式の割合はRC造が65%、木造が35%であり、RC造の割合が多いのは海風や台風を考慮しているものと考えられる。また空き家となっている住居の割合は約15%であり、国内の住宅総数に占める空き家の割合13.6%（総務省2018.10月による）に近い値となった。数字上は国内の状況と近い値になったが、集落内には倉庫等の割合も多く、少ない世帯数の中において、空き家や倉庫の存在は大きく、過疎化が進んでいる印象であった。



調査を終えた後、NPO法人さがのせきの山田氏が準備して下さり、全員参加でバーベキューを行った。学生には体験学習の意を込めて、「自分達で炭おこしから始めなさい」という教授の言葉をよそに、大人達は用意されていたガスコンロに甘え、先行して肉とノンアルコールビールで体力回復を行った。猛暑の中、協働して頂いた方々や学生に感謝し、有意義な時間を過ごしなが、当日の活動は終了することとなった。

後日、事業の主幹を務めて頂いていた日本文理大学建築学科の吉村教授に、学生のレポートの内容を伺った。「一軒一軒の間隔が狭く、住民間の仲が良さそうだと感じた」「建物や路地がキレイで、海のまちといった良い印象を感じた」「洗い場や更衣室など、海で遊べる環境が整っていない」「地域の課題をみつけようと思っても、それが地域の人たちにとって本当に課題なのかどうか

考えるのが難しかった」「地元の人にお会いしたが、話しかけることができず少し距離を感じた」「黒ヶ浜と近くの集落には見えない魅力を感じた、不思議と住んでみたいと思った」などの率直な意見や感想を確認することができた。



大黒地区には、生活感が滲み出た狭い路地が、海風をしのぐ為に造られた、無骨ながらも情趣ある石垣で構成され、親しみを感じる空間となっている。また佐賀関には大黒地区同様、立体感のある地形と、狭く複雑で曖昧さのある路地が多くあり、意外性や好奇心を誘う空間となっている。これらは学生の感じた魅力の一部であり、まちの重要な資源であると思う。一方で、深刻な少子高齢化、高齢者には負担の多い坂道、滞留する場所が少ないことや、密集による防災防犯面の脆弱、地域住民との問題意識の共有等、まちの課題も挙げられる。今後の支部活動として、これらの課題と向き合いながら、この重要な資源の活用と発信に取り組んでいければと思う。

令和元年度 公益事業の成果

玖 珠 支 部

玖珠支部 尾方秀則 旧玖珠区米倉庫(現角井商店) 建物の調査

久大本線の全線開通は昭和9年です。同時に豊後森機関区ができ、機関区内には機関庫をはじめ様々な施設も設置され機関区では200名以上の職員が配置され、豊後森駅の乗降客は5000名を超えるほどでした。森駅通りの繁栄も同時に始まりました。鉄道が物流、人身の輸送手段で近代化に貢献しました。

輸送手段である鉄道に隣接して、南部精米所、玖珠区米倉庫等も建設されました。

玖珠区米倉庫は貨物列車の引き込み線から米、麦の積込みを行っていました。昭和14年築の玖珠区米倉庫は、当時の物資不足からか、柱を竹筋コンクリートとした建物です。

建築士会玖珠支部は、現在まで近代化に貢献し現存する機関庫の本体の図面化、劣化調査、窓枠の再現等を行い、その職能を通じ、まちの活性化に貢献する活動を行いました。



今回の調査は旧玖珠区米倉庫(現角井商店)の建物を調査、図面化し、近代化遺産の発掘に伴い、機関庫を訪れたお客さんに鉄道遺産の紹介と回遊による、町の活性化に向け建築士の立場から提案します。



【建物履歴】

上 棟 昭和14年12月14日
 施 主 玖珠町信用販売利用組合
 組合長 三池善次郎
 建築委員 吉武 晴夫
 工事請負人 大分市 昭和土木建築社
 主管 阿部 栄
 現場主任 木本 幸善
 “ 磯崎 清

建物履歴 昭和14年 玖珠区米倉庫
 ↓
 昭和52年 角井仁紀氏に所有権移
 転(店舗として利用)
 ↓
 現在に至る

【調査概要】

実測調査、間取り、立面、断面図等の作成

西側の下屋分を解体した折にコンクリート中に丸竹が4隅にありその周囲を割竹で巻いていたとの事で、本体部のコンクリート柱について鉄筋の有無について鉄筋探査機を使用して調査し、無筋である事の調査結果を得ました。



令和元年度 公益事業の成果

白 杵 支 部

白杵支部 梅 田 雅 也

町ゼミうすき大会

白杵支部の公益活動事業は、「子どもとふれあう建築士・折り紙建築」、「町並み学習会」、「空き家調査・研究事業」の3本柱で、行っております。

昨年度は、その中盤の集大成として、「第6回九州町並みゼミうすき大会」を主催団体の一つとして開催いたしました。

市外より、100人超の参加をいただき、大成功だったと言っていいんじゃないかと思います。



町並み学習会

会員・市民に参加募集をして、白杵支部会員の齋藤さんを講師に、他地区の取組について紹介してもらい、その話を参考に「では、白杵市なら、どうできるか」という協議を行います。

年4回、開催しています。



会場：観光交流プラザ 3F会議室

現地、見学会も年1回実施します。

昨年度は、大川・八女地区を回りました。

写真は、吉川邸の修復現場です、地元のNPO法人の会長と市の担当者にご案内いただきました。



子どもとふれあう建築士・折り紙建築

青年部主催で、年2回おこなってます。将来の士会員が、育つといいな。



空き家調査・研究事業

建築士としての目線で空き家調査をおこなっています。

耐震・補修・改修後の用途・予算の検討、登録文化財として活用できるか検討しています。



紹介は、ほっとさんでした。

別府支部 幸 孝 文

「戦争遺構と景観について」

1. 目的

平成30年度の公益事業は、別府支部と宇佐支部の合同事業として、宇佐市と日出町に残る戦争遺構を残し後世に伝え、今後のまちづくりに活かしていくことを考えていくことになった。

宇佐海軍航空隊は、宇佐郡柳ヶ浦村に飛行場を建設し、航空隊が設置された。瀬戸内海南西端に位置する海域「周防灘」に面し、洋上爆撃・雷撃訓練が容易なうえに、呉鎮守府にも近く、航空母艦を招いての発着艦訓練も頻繁に実施できたとされている。

大神回天基地は、1944年（昭和19年）8月に人間魚雷回天が正式な兵器として認められると、回天の訓練基地が山口県の大津島に開設、続いて光基地や平生基地が開設され、海軍用地として買収済みだった大神でも、その一部を回天基地として転用することが決定して建設が開始された。

2つの基地について、宇佐は平野、大神は入江と丘陵地という地形的な特徴があり、基地の形成に関係しているとともに、それぞれ素晴らしい景観を有している。戦争遺構を伝えていく上で、この景観との関係性を明確にしていくために、現地調査とパノラマ模型の作成を行った。

2. 現地調査

現地調査は、平成30年9月1日に、別府支部と宇佐支部会員計7名で、宇佐市と日出町の戦争遺構を回り、それぞれの施設の特徴や現状、地形的状況の把握と考察を行った。



調査の状況（掩体壕）

3. パノラマ模型作成

現地調査を受けて、宇佐と大神の地形的な景観の特徴を表現するために、700分の1のパノラマ模型をそれぞれ作成することとなった。会員全員が、立体地図の制作は初めての体験だったため難しい面があったが、本来「建築模型」を制作している会員や、折り紙建築等を体験していることもあり、期間内での完成に間に合い、それぞれ良い経験となった。戦争遺構となる大規模な地形をパノラマ模型にすることで、一般の方々にもその規模や配置が分かりやすくなり、「宇佐海軍航空隊」では広い平野の景観、「大神回天訓練基地」では海上に面したリアス式海岸の景観が視覚的にも把握しやすくなった。今後は、これを両地区の「景観とまちづくり」に活用されることが望まれる。



模型製作状況



大神基地パノラマ模型（完成）



宇佐基地パノラマ模型（完成）

高田支部 清 末 幸 生

「木組み」の会・夏休み木工教室

地元の若手工務店6社が「木組み」の会を編成しました。

高田支部の公益事業の一環として、7月27日(出)に地元の子供達を対象に、木に触れてもらう事で、また皆で物を作る事により、「ふれあい」「協力」「絆」「楽しさ」等を体験してもらう場を提供し、これから先の時間の中で何か記憶に残ればと思い「木工教室」を企画しました。

教室は午前・午後の2部に分け行いました。最初は、ヘルメットを着用し、メンバーと共に大工道具を使い家の棟上げまでの工程を作業とし、完成の後には、餅まき儀式を模して袋入りのお菓子(お土産用)をまく事としました。

ここで私自身が思ったのが、せっかくなら「五色ののぼり」を掲げて棟上げの雰囲気盛り上げたら良いかな…?とメンバーに来年に向けての宿題として相談しようと思ったところです。

次に、木製のスライド式本立を作ってもらいました。

準備した材料を、メンバー・親達の手助けをもらいながらそれぞれが切断し、釘を打ち、取付けて完成させました。



今回子供達を見ていて、作業中の真剣なまなざし、又子供達同士の作業が気になる様子、完成してからの得意顔と喜びの笑顔がとても印象に残った教室となりました。



大いに盛り上がったのよ! 県北 夏の合同親睦会

宇佐支部 光井 智

去る令和元年8月31日(土)に宇佐市にて宇佐支部青年部主催『県北 夏の合同親睦会』を行いました。毎年、中津支部との合同親睦会を、会場を交互に開催しておりましたが、中津支部青年部長松山さんと相談して県北地区の他支部の皆さんも巻き込もうということで企画いたしました。



各支部からたくさんのご参加の返事をいただきましたので、親睦会の前に宇佐市の門前町、歴史資料館、掩体壕などを見学し、空腹状態（アルコールとステーキのスパイス）になってもらおうと町あるきを急遽企画いたしました。

町あるきでは、文化財のエキスパート小倉正五さんにご案内いただき、エキスパートならではの造詣の深い説明を聞きながらのあっという間の2時間でした。



お待ちかねのメインイベント親睦会ですが「ステーキ



キハウスルート10」での宴会です。ここからの参加者も有り人数も増え、料理も美味しく、先ほどの町あるきでの話題、初対面同士の紹介・挨拶、他支部との交流等々大いに盛り上がりを見せたのではないかと思います。



総勢19名、日田・

中津・高田・国東・大分支部からお越しいただきました。残念ながら玖珠支部の方の都合が付きませんでした。県北の結束力を感じるそんな企画に出来たのではないかと思います。



まちづくり委員会より ～「建築士の集いin石垣島」に参加して～

宇佐支部 渡辺 賢 一

九州の大会として定着している「建築士の集い」に参加してきた。今年は沖縄県の当番で、離島石垣島で開催というから、楽しみにしていた。幸いにも梅雨前線は本土に停滞し雨は降らなかったが、梅雨まっただ中の石垣島はとても暑く、疲れた。さらに疲れる要素のひとつに「言葉」。もちろん、方言で話すことはなかったが、沖縄の言葉はフツーに解釈してもムリ。「ありがとう」が「にいふあいゆー」だから。



午前中はまちづくり委員会に出席し、私は大分県の活動を5部会それぞれ報告。HM要請に取り組む歴史部会や、災害対策の急がれる防災部会、景観・空き家部会などはどの県でも取り組みは早くディープだが、福祉方面のおくれは一様である。

こういった情報のやりとりはとても大切だと思う。よそも同じだと安心する一方で、このままではいけないと同時に気づく。九州も全国も、集うたびに「まちづくり5部会」がどんどん進化していることに驚かされる。連合会からは三井所会長も来られた。



午後から各県の地域実践活動が発表され、全国大会での九州代表が選出された。我々が大分県は残念ながら選ばれなかったが、どこの発表も優劣は無かった。私が県代表で二度発表して、いずれも二位だったことを思い出した。

分科会はバスに便乗して景観地区を見てまわった。風景づくり条例の公布によりこれまで取り組んできた景観保全の様子を、様々な問題点とぶつかりながらも進めてきた経緯などを交え説明していただいた。



ちなみに分科会報告は大分県全会員に愛されている、光井青年委員長である。



旅の醍醐味はやはり「食」である。同じように見えるソバも、本土と石垣では違う。ソーキソバは本土の呼び名で、トッピングの肉は分厚いチャーシューといったところか。石垣では八重山

(やいま) ソバと肉は小さくカットされている。麺も平たいとか細いとか意見は出たが、タクシードライバーによるとそれは店毎の違いなんだとか。他には石垣牛のステーキも空港のフードコートで食べた。何か忘れてないか? はい、青い空のしたでのオリオンビールが不快指数100%を吹き飛ばし、懇親会での泡盛は九州をひとつにする最大の要素であった。



いつも思うが、建築士会は研修が多くありがたい。まちづくりもそうであるが、林業・不動産など他団体やメーカーが主催する技術系の講習もあり、自己研鑽に余念がない。建築士会では、全国大会をはじめ、建築士の集い、九州まちづくり塾・パッションがある。県内でも建築セミナーの他に木工や折り紙建築など各支部が様々な切り口で公益事業に取り組んでいる。他の組織ではめったにあり得ないことだと思っている。宇佐支部でも常に事務局から案内を発信しているので、是非みなさんも参加してみてください。

【PS】

ちなみに私たちが宿泊したホテルはリノベーションで生まれ変わった建物であった。チェックインして、何気なくエレベーターに乗ろうとした途端、通常のビジネスホテルの3倍ほど奥行きのある広さにびっくり! ローカの幅は広く天井も高い。部屋のトイレに入ると、車いす対応用の便器(通常より座面が4cmほど高い)。これまた後でタクシードライバーに訊いてみると、元は外科病院だったらしい。フムフム…。



全国大会参加報告

別府支部 籠田 真一郎

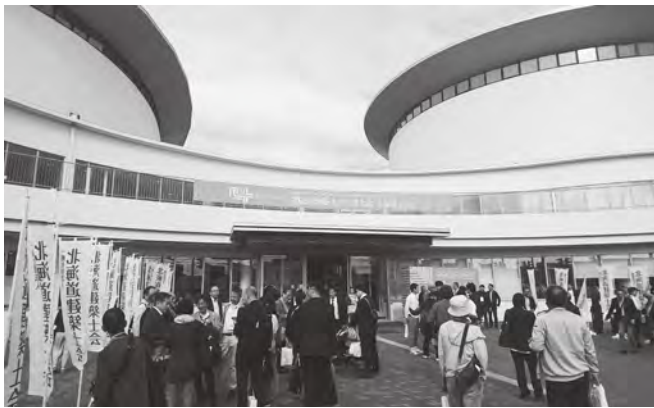
去る9月28日(土)に全国大会「北海道大会」が大会テーマを「Re+」^{リクロス}「明日のまちに輝きを」^{みらい}として、函館市にて開催されました。

前日からフォーラム等開催され、参加された方もいらっしゃったようですが、別府支部は当日出発、午後函館に到着し、大会に参加しました。

午前中の各委員会のセッションには残念ながら参加できませんでした。また、大会の報告は、会報「建築士」で後日、報告があると思いますので、そちらをじっくりご覧いただきたいと思います。そういうことで、今回の報告では割愛させていただきます。

全国大会に参加して思うのはやはり3年前の大分大会です。まだ3年しか経ってないのに、何かもうかなり昔の出来事のように思ってしまう。

会場入りすると、大分大会のときはこうだったなとか、あの時は大変やったなとか、楽しかったなとかいろいろな想いが蘇ってきます。それと同時に、気楽に参加できることの喜びを噛みしめながら、参加させていただきました。



会場の函館アリーナ

さて、やはり本番は大交流会です。乾杯前の挨拶が少し長かったのは多少気になりましたが、美味しい北海道の食べ物とお酒をいただきながら、大分の会員の皆さん、九州ブロックの顔見知り、大分大会の時などに知り合った全国の方との再会、交流を楽しませていただきました。

来年は広島大会です。広島士会の皆さんのPR活動が式典に引き続き交流会でも行われました。来年は11月14日(土)に広島市で開催されます。是非大分の

皆さんも大勢参加しましょう。

交流会の最後には函館名物の「イカ踊り」が行われました。よく見たら、大分の某支部長がセンター近くで踊っている。(さすが!!)



大交流会のフィナーレのイカ踊り

大交流会終了後に企画された「函館夜景バスツアー」にも参加させていただきました。最高の天気で、最高の夜景を堪能しました。それにしても観光客が多いのにびっくりしました。



函館の夜景

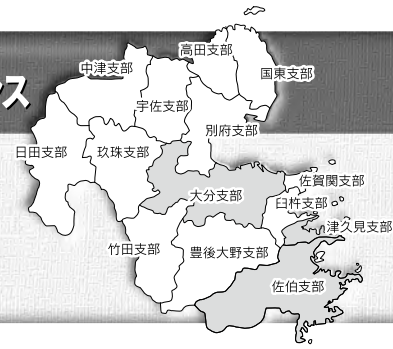
今回の全国大会もしっかりと楽しませていただきました。北海道建築士会の皆様本当にありがとうございました。大分から参加された皆さん、台風の影響で帰りが大変だった方もいらっしゃったようですが、お疲れ様でした。また、来年の広島大会も参加したいと思います。

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



- ★生 年 平成4年9月19日
- ★勤 務 先 一級建築士事務所たかせ ao
- ★趣 味 釣り
- ★将来の夢、モットー等

一級建築士事務所たかせao所員の福岡です。建築士会の活動は、所長を通して少し知っていたので、建築士になった暁には、入会しようと思っておりました。

今後は、活動を通して、スキルアップやコミュニティを広げられたらと思っております。

まだまだ未熟者ではありますが、よろしくお願ひ致します。



福岡 里予 (津久見支部)

- ★生 年 昭和32年生まれ
- ★勤 務 先 株式会社 佐々木建設
- ★趣 味 ドライブ
- ★将来の夢、モットー等

株式会社 佐々木建設の高橋と申します。

主に現場管理の仕事に携わっていますが、各職種の人手不足が言われているなか、特に地元佐伯では以前から若い人達の建築離れ、又高齢化(自分を含めて)が進んでいると実感しています。

建築士会の入会を通じて様々な方々と、ふれあい士会の活動等積極的に参加して勉強したいと思いますのでよろしくお願ひ致します。



高橋 俊朗 (佐伯支部)

- ★生 年 昭和40年7月4日
- ★勤 務 先 株式会社 佐々木建設
- ★趣 味 ロードバイク、映画鑑賞
- ★将来の夢、モットー等

株式会社 佐々木建設の松岡と申します。

現在現場管理の仕事に携わっています。各業種の職人さんたちと日々奮闘中です。一級建築士を取得して随分経ちますが、建築士会を通じて新しい知識を吸収していければと思っています。

今の建築業界は、技術者・職人不足が深刻で、「人材確保」が課題です。しかし、この【建築】の仕事は、奥が深く、また、やりがいのある仕事です。この魅力ある建築が若い世代に繋がっていければと思います。

これからもよろしくお願ひ致します。



松岡 豊 (佐伯支部)

MY WORK

- ★建物名称 角木の家
- ★建築場所 中津市
- ★用途 住宅
- ★床面積 115.00㎡
- ★構造 木造2階建て
- ★設計者 尾垣俊夫建築設計
- ★施工者 自主施工

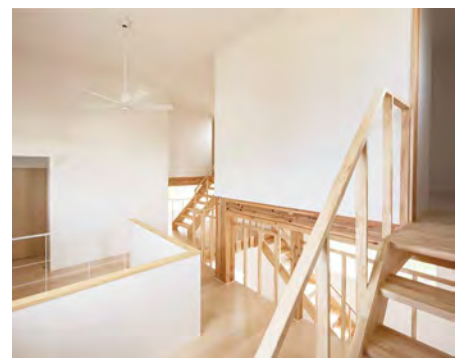
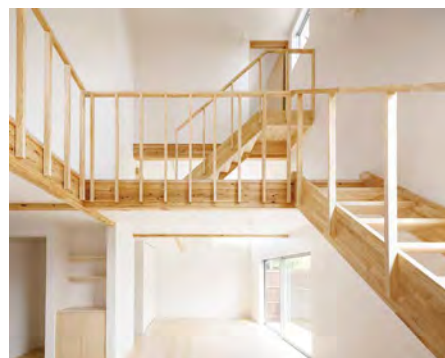
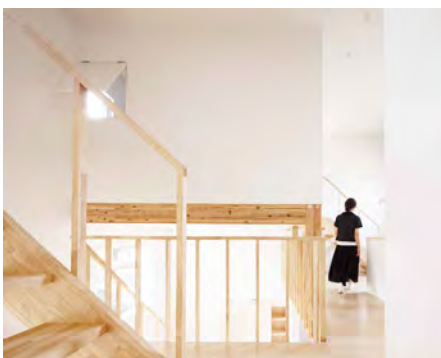
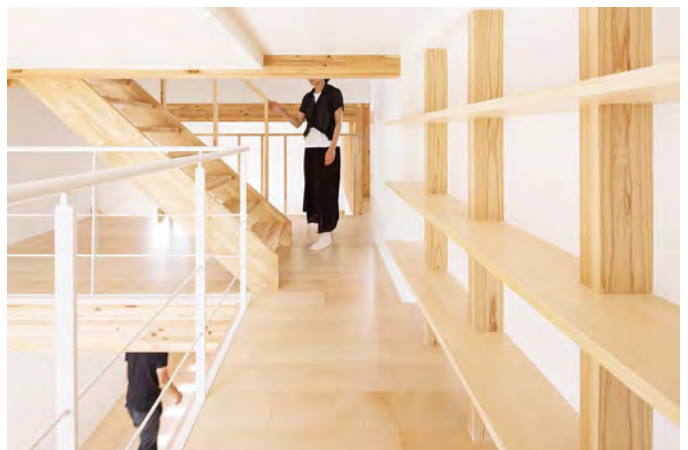
★設計趣旨

中津市に完成した家族4人が住む住宅です。お施主さんからは家族の気配を感じ、家族それぞれが思いおもいに生活がおくれる家を求められました。建物の構成はnLDKを基本に共用部分の廊下や階段をそれぞれの居場所として立体的に構成しました。

それによって沢山の小さな居場所が家の中に散りばめられ、多様な繋がりによってひと通りではないたくさんの風景が家の中に生まれました。ひとつひとつは食事やリビングで寛ぐ何気ない日常の風景ですが、いろいろな方向からの出会いによって、全く異なる印象の風景が展開されています。

住まう家族にとって何気ない日常の風景を多様な日常の風景として、家の記憶として蓄積しながら暮らす住宅になりました。

住む人にとって家がひとつの世界であり、ひとつの生活の舞台であるからこそ、ひとつひとつの風景や場面を濃密に、そして多様に紡いでいながら設計した住宅です。



MY WORK

- ★建物名称 和光保育園
- ★建築場所 豊後高田市新栄
- ★建築主 社会福祉法人 興隆会
- ★設計者 (意匠) 有限会社唯工房一級建築士事務所
(構造) 株式会社さとう不動産設計事務所
- ★施工者 佐々木建設株式会社
- ★構造・床面積 木造平屋、994.07㎡



★設計趣旨

「新園舎は木造でなければならない。」

【木】は人々の暮らし全てと関わっており、木の空間では子供たちが健やかに育むことができる。

当園舎はお寺の東側に位置し、隣には「和光の森」と呼ばれるなだらかな斜面の雑木林が繋がっている。それを景観の軸とした。

また、東側には呉崎の田園風景が広がり、北遠方に国東の六郷満山の山々が見える。

その豊かな景観に調和するよう屋根を低く抑え、外と内の間に遊びの軒下空間、外廊下を設けて子供たちを優しく包み込むような構成、デザインとした。



BOOK My Best Book

マイベストブック

『シアター!』 有川浩／メディアワークス文庫
別府支部 中原 健

本商業的に黒字が出せる劇団へ。

私は劇団を見に行った経験が一度しかありませんし、普通に生活していく中で劇団を見に行く機会というのも多くはありません。また、見に行ったのも世間的にも広く知られているメジャーな作品でした。

この作品を読むまでは、劇団というものがあることも知りませんでしたし、商業的に黒字を出すのが難しい業界であり、劇団員が負担しながら運営されているところがあるとは思っていませんでした。この作品は、経営難の劇団に新星プロ声優が加わることにより起きる劇団員の心境及び行動の変化と、鉄血主宰を加えることで起きる運営面における変化により、黒字の出せる劇団に変わっていく物語です。

作中に出てくる登場人物の人間味溢れるやりとりを軽快に描くことで、感情移入しやすくどんどん読み進めていくことのできるものとなっており、また、読者がつっこみをいれたくなるような人物像が描かれた作品です。

今まで全く興味を持ったことが無く、知る機会のなかった世界ではありますが、この作品を読み劇団という業態を部分的に知ることが出来、新たなものに興味を持つきっかけとなった本です。



『柳宗理 エッセイ』 柳宗理／平凡社
別府支部 小山 秀 輝

本書は、プロダクトデザインのパイオニアである柳宗理氏が88歳で刊行した著作選集である。

柳宗理氏のデザインの考え方や、長大橋から野球のボール、アアルトやウエグナーの椅子、亀の子束子などのデザインについての解説、日本と世界のアノニマスデザイン、柳宗理氏の生い立ち、父・柳宗悦の民藝活動についてなど、様々な角度から柳宗理氏の一貫した思考を垣間見ることができ、デザインというものを考えさせられる一冊である。

本書中の言葉で「本当の美は生まれるもので、作り出すものではない」とある。それは、その土地で、その時の技術と材料を使い、その用途に真摯に向き合ってものを作れば必然に美しいデザインとなるという柳宗理の理論である。伝統的な美を意識しすぎて設計をすると、わざとらしさや嫌らしさがそこに窺われる。消費者の興味をそそるような刺激的なデザインをめざすと、くどくどしいこれ見よがしなものになってしまう。必然から生まれてくるデザインが普遍的な美しさを持つものになるのだろうと、建築に携わる者として感銘をうけた。

本書の中では、コルビジエや坂倉準三など建築家に触れる部分も多く、これからも仕事をしていく上で非常に参考となる一冊である。



My Best Book

マイベストブック

『世界で一番美しい猫の図鑑』

作：タムシン・ピッケラル
写真：アストリッド・ハリソン
訳：五十嵐友子
発行元：エクスナレッジ

大支部 工藤賢也

私は、大支部 大分市役所に勤務している工藤賢也と申します。

最近猫ブームということなので、私が紹介する本は、「世界で一番美しい猫の図鑑」という本です。

この本は、猫の魅力をたっぷりと語り、ヤマネコがどのようにして野生の生活を捨て、温かな生活を手に入れたのか、その歴史を紐解いていく本です。

古代エジプトで生まれたしなやかな身体のアビシニアンに、高い知性を持ちシルバー・ブルーの被毛が際立つロシアンブルーや垂れ耳が可愛いスコティッシュフォールドなど50種類を超える猫のそれぞれの歴史に隠された物語を美しい&可愛い写真とともに紹介する本になっています。

猫好きだけでなく誰でも1冊は本棚に入れておきたい図鑑です。1枚1枚がホントに美しくそしてやっぱり可愛い写真がたくさんあります。

なお、猫好きの友人などのプレゼントにすると間違いなく喜ばれます。サイズは大きく、ハードカバーで紙質はしっかりしているためプレゼントには最適です。

猫好きの人にはより深い知識をそうでない人には色々な猫の魅力を知ってもらえるそんな1冊です。



『アイデアの作り方』

著者：ジェームス・W・ヤング
訳：今井茂雄 解説：竹内均
発行元：TBSブリタニカ

大支部 高橋大介

建築家とはクリエイティブな職業である。仕事は常に決断の連続で、過去の経験から導き出した答えの積み重ねと新しい発想が求められる。

この本はインスピレーションがどうしたら生まれてくるのかを教えてくれる本である。私も何度も救われた。ただし、インスピレーションがどうやって湧いてくるのかを科学的に検証・考察して説明してくれる訳ではない。あくまでこうすればインスピレーションが降りてくるという、いわば儀式的な行為を教えてくれる。こう書くと随分と怪しい雰囲気は漂うが、騙されたと思ってぜひ手にとってほしい。

大変薄い本で60分で読めると帯に書いてあるが、一生モノの経験を学ぶことができると言っても過言ではないと思う。中身を見てみると目次を入れても60ページ程度の本文と解説からなる本で、大変に読みやすい。故に愛読書としての方も既に多くいらっしゃるのではないだろうか。

私がこの本に出会ったのは社会人になってからであったが、学生の頃は時間もなかったためか、図らずも同じことをして課題に向き合っていた様に思う。あ那时的みずみずしい脳がひねり出したアイデアと同じ様にこの年になっても閃かせてくれるのはこの本のおかげだと思う。時間が無いときこそ、この本を活用してよかったと実感する。

もし、この本を手にしたことがない方で、最近スランプ気味の方やこれから建築家を目指したい若い方にはおおすすめの1冊である。



我が街紹介

高田支部 後藤 憲二

高田支部の豊後高田市は、最近では『昭和の町』で有名になっています。その昭和の町も含めてイベントを中心に紹介します。

豊後高田は宇佐神宮の影響を強く受けており、平安時代には宇佐神宮の荘園として、その経済力を背景とした独特の山岳仏教文化「六郷満山文化」を発祥させました。国東半島は、六つの郷『来縄・田染・伊



美・国東・武蔵・安岐』に分かれていてその内、来縄と田染が豊後高田にいたります。今でも田染荘では、



6月に御田植祭、10月に収穫祭を行っており、御田植祭では裸足で田に入り昔ながらの手植えの田植えを体験できます。希望者には中世の衣装貸し出し



(有料)もありインスタ映えもバッチリです。当然収穫祭も同じく昔ながらの稲刈りを体験できます。

国東半島は石造文化財の宝庫ですが、豊後高田にもいたるところに風景と一体となって存在しています。



胎蔵寺の熊野磨崖仏や天然寺の川中不動などが有名ですが他にも小さな磨崖仏などが点在しています。

一年の最初にあるイベントが「ホーランエンヤ」です。江戸時代中期に始まったこの行事は、鳥原藩の属領であった時代に年貢米を鳥原城下や大阪の蔵屋敷に送っていたことから、その廻船の安全と豊漁を祈願するものとしてはじめられたようです。色とりどりの大漁旗や万国旗で飾られた宝来船が磯町地区を出航し、「ホーランエンヤ、エンヤサノサッサ」



のかけ声とともに満潮の上げ潮に乗って漕ぎあがります。船上では、エビス、ダイコクの2神に扮した少年が舞い、川の両岸を埋める見物客めがけて、紅白の祝い餅が投げられます。福をつかもうと、観衆は川中を進む船を追いながら移動するので最終地点の旧市役所前では数千人になっています。

最大の見せ場は、岸に用意されたご祝儀を漕ぎ手が飛び込んで受け取るシーンで冷たい川中に勢よく飛び込むと、大きな水しぶきが上がります。

3月の中旬には「昭和の町レトロカー大集合」が開催され、名車、旧車約100台が展示されます。車の隣にオーナーが座っている車もあり色々と話を聞くこともできます。サーキットの狼で活躍したロータス



ヨーロッパ、ポルシェカレラなどの外車やトヨタ2000GT、クラウン、カローラ、サニー、サバンナ

などの日本車など楽しめます。展示車以外に見学
旧車で訪れる人も多く懐かしい車と市内ですれ違う
ことも多いです。



ゴールデン
ウィーク前半、
「昭和の日イ
ベント」が開
催され、街の
中で大道芸祭、
レトロバス乗
車、フラフー

プ回し大会、ちゃぶ台返し選手権などで楽しめます。
特にちゃぶ台返し選手権は子供から大人まで日ごろ
のうっ憤をネタに星一徹ばりの見事なちゃぶ台返し
に笑いが沸き起こります。

ゴールデンウィーク後半には、「豊後高田そば祭」
が開催されます。豊後高田は全国トップクラスのそ
ばの栽培面積なのです。



午前中には、
そばの大食い
選手権団体戦
があり、各
チーム3人1
組で挑戦しま
す。予選と決

勝があって予選では二人羽織でのそば饅頭を食べたり、そば茶飲み、白ネギを箸にしたそば&ネギ完食など趣向を凝らしたもので、勝ち上がった決勝では15分で20杯近くを平らげる楽しくハードな選手権ですが、優勝チームには副賞として豊後高田そば1年分が送られます。午後には個人戦があり、個人戦は単純に15分時間内の大食いです。優勝者は10杯近くを食べます。そしてお昼にはスーパー大鍋で湯がいたそば2000食が振る舞われます。

五月には、その名もずばり「豊後高田五月祭」中央公園の会場で小・中学生ドッジボール大会や野外ステージでは各種イベント、ふれあいマラソン大会が開催されマラソン大会の後にはまたまた登場のスーパー大鍋で作られた合鴨汁2000食が振る舞われます。ステージ前には多くの露店が出店していて昼間からほろ



酔い気分で
楽しめます。

10月には
「昭和の町
音楽祭」豊
後高田少年
少女合唱



団、高田高校の吹奏楽
部に続きアマチュアバ
ンドの昭和にちなんだ
レトロなミュージック
ショーが続き、午後には
別府にあるヒットパ
レードクラブのヒット
パレーダースのステー
ジもあり、クラブでの
演奏とは一味違った野
外ステージで最高に盛
り上がりますよ。昨年



はどぶろっくの出演などお笑い芸人の出演も楽しみ
の一つです。当然ながらフードブースには様々な出
店があり子供から大人まで一日楽しめますよ。



11月には、
「若宮八幡社秋
季大祭・裸祭
り」があり、長
さ16m、重さ5
トン世界一の巨
大な大たいまつ
に、御玉橋から

火矢によって点火されます。年によって点火までの火矢
の数はまちまちで年によってはえっと思うほど早く1本
目が当たることもあります。(笑) このたいまつ
の灯りに灯され締め込み姿の若者たちが神輿を担いで川を渡る
光景が素晴らしいです。川渡りはお下りとお上りの2回
あり、金曜日と日曜日に楽しめます。

豊後高田市は、江戸時代から明治、大正、昭和30
年代にかけて、国東半島で一番栄えた街だったよう
ですが鉄道の整備を避けたことからだんだんと時代の
波に取り残され、多くの商店街と同じく寂しい街
になっていました。しかし、商店街が元気だったあ
の昭和30年代の元気、活気を蘇らせようと平成13年
に立ち上げたのが「昭和の町」です。当初7店舗か
らスタートした昭和の町認定店は現在40店舗ほどに
なり年間40万人近くの人を訪れています。何かのイ
ベントに合わせ是非一度立ち寄ってみてください。

我が街紹介

臼杵支部 小 代 宏 幸

うすきひな巡り（2月初旬～3月中旬 毎年開催）



ひな巡り（真光寺会場）

1556年頃に大友宗麟公により築城された臼杵城、その城下町として栄えた臼杵市は、質素儉約を旨としてひな人形を紙で作ってました。

その古事にならい、真光寺（写真）を中心に、サーラ、プラザ、下屋敷、大蔵等に紙雛を飾ります。

期間中は、真光寺会場にて自由に参加してひな人形を作成して展示することができます。

旧真光寺

臼杵支部の幸設計さんを中心に会員協力の下、休憩所として再生されました。



桜祭り（開花予想を基に日曜を期末に10日間開催）

臼杵城址にて800本のソメイヨシノが、楽しめます。

併せて様々なイベントが町中で開催されますが、その中に桜マラソンが、あります。



かつて臼杵支部には陸上部が存在し参加しておりました。

この大会での優勝者がその年の陸上部の部長に就任しておりましたが、現在は自転車部になってます。

臼杵城址の桜・畳櫓

右手に見えます建物は、国指定文化財の畳櫓です。臼杵支部にて保存修理の設計を臼杵市の委託の下、行いました。



大門櫓（臼杵城跡）

臼杵支部にて、古書を研究して復元設計をしました。（約5年、かかりました）

臼杵祇園祭り

寛永20年（1643年）から続く臼杵最大の夏祭りです。毎年7月の中旬に日曜の渡御より土曜の還御まで、勇壮な山車を中心に行われます。是非、お越しください。



竹宵

臼杵石仏火祭り

11月の最初の金～日曜開催の「竹宵」写真は、般若姫行列です、別嬪さんですよ。8月の終わりには、石仏にて「火祭り」が開催されます。とても幻想的です。





マーボの旅先日記 その11



会長 井上正文

沖縄初の国宝建造物・玉陵（たまうどうん）を訪ねて



国宝建造物の指定は毎年のように行われています。ちなみに最も新しい国宝と言え、本年国宝指定が決まった長野県松本市にある「旧開智学校」です。昨年、国宝に指定されたのが、ここで紹介する沖縄県那覇市にある「玉陵（たまうどうん）」です。ここを訪れる前段の話を披露しましょう。私が国宝建造物巡りマニアだということは、皆さんご存知かと思えます。新しい国宝建造物の指定があると、あまり間を置かず出かけることにしています。ここを訪れる前夜、沖縄在住で昔から懇意にしている知人と那覇の居酒屋で一杯やりながら歓談中、明日は玉陵を見に行くと言われ、こう言われました。「洗骨（せんこつ）を知ってるか？今、ちょうど『洗骨』という映画が沖縄で先行公開されているので、是非、玉陵とセットで見なさい…」と。実は、これまで洗骨なるものを知りませんでした。早速、翌日、『洗骨』を観に行きました。監督・脚本は照屋年之。実は、あのお笑い芸人のガレッジセール（沖繩出身）なのです。ここでは映画の中身にはあまり詳しく触れませんが、とても良い映画でした。ここでは、「洗骨」が大きなテーマになっていました。洗骨とは死者を風葬にして、他界から3年後





にその遺体を石室から出して、家族みんなで骨だけになるまで洗って、納骨する儀式のことなのです。

国宝「玉陵」は歴代の琉球国王の陵墓で、この玉陵敷地内で洗骨も行われていたそうです。陵墓の前面左手に洗骨のスペースもきちんと保存されていました。ここは、ほぼすべての部分が石造だったため、戦火を逃れ保存されていたため、国宝指定に至ったようです。沖縄には戦前、首里城をはじめ、多くの国宝級の建造物が存在していたらしいのですが、そのほとんどが戦火に遭い、焼失してしまいました。このため、つい最近まで沖縄県には国宝建造物が存在していなかったのです

が、この度、「玉陵」の価値が見直され国宝指定に至ったと聞いています。「洗骨」の意味を理解した上で、ここを訪れてみては如何でしょう。観光スポットとして有名な首里城公園の入口そばですので、首里城とセットで見学されることをお勧めします。ちなみに首里城場内の一角（正殿裏手）には、江戸城で言うところの大奥に相当する、王様の生活空間である「御内原（おうちばる）」の復元工事も終了して、一般公開されていますので、この見学もお忘れなきよう。



事務局だより

■委員会活動報告及び予定

総務委員会

1. 永年会員表彰式ほか

6月7日(金)の通常総会終了後、大分リーガルホテルにおいて永年会員表彰式が開催され、90名近くの方が出席されました。永年会員表彰者40名(出席者15名)を代表しまして、日田支部の榎原様へ井上会長より表彰状と粗品が渡されました。

受賞者を代表して榎原様より挨拶がありました。

○今後の予定

- ① 会員増強月間の実施

事業委員会

1. 『磯崎新の謎』展の特別協力について

9月27日(金)から11月24日(日)の間に、大分市美術館の主催で「磯崎新の謎」展が開催されます。大分県建築士会においても、関連行事において特別協力に関わっています。

【建築士会主催行事】

□ プリツカー賞記念・磯崎新の建築をめぐる旅

日時等：11月23日(土)9時大分駅前発 ⇒

24日(日)16時30分大分駅前着

貸し切りバス 1泊2日(湯田温泉泊)

募集人数：45名・定員に達し次第受付終了します。

見学場所：23日～北九州市立美術館・北九州市中央図書館他

24日～山口情報芸術センター・秋吉台国際芸術村(中山邸)

参加費：15,000円(税込)

宿泊費(夕・朝食付き)・入館料込み

申込：10月25日が締切日ですが、空きがあれば受付予定です。事務局へ連絡ください。

電話 097-532-6607

F A X 097-532-6635

メール info@oita-shikai.or.jp

○今後の予定

- ① 「2020支部対抗ボウリング大会」の実施

※詳細が決まり次第お知らせします。

防災委員会

1. 罹災証明に必要な住家の被害認定調査に係る技術者養成研修会の開催

・5月14日(火)に日田市で28名の方が参加。

・7月17日(水)に豊後大野市で18名の方が参加。

○今後の予定

- ① 応急危険度判定研修会の開催

- ② 応急危険度判定士 先遣隊の再編成

※詳細が決まり次第お知らせします。

調査研究委員会

1. 「地域の歴史的建造物の保存・活用に係る専門家(ヘリテージマネージャー)育成&ステップアップ研修」について

<第1回>

7月20日(土)コンパルホールで約40名の方が参加。開講特別講演として建築士会連合会の三井所会長より「持続可能な歴史的建造物の保存活用～生業の生態系の保全について考える～」と題しまして講演いただきました。引き続き昨年度も講師としてお見えいただきました工学院大学理事長の後藤治先生から「歴史的建造物の修理の考え方」と題しましてお話をいただきました。

<第2回>

8月5日(月)杵築市生涯学習館で約40名の方が参加。テーマは、

1. 重伝建地区内建築物の調査方法・修復事例研修(1)
講師 大分HMネットワーク会員 芳山憲祐氏
有田頼正氏
杵築市役所 有田和弘氏 阿南雅希氏
2. 修復の技法・工法の伝承(1)
講師 (一社)日本伝統建築技術保存会
西澤政男氏
3. 杵築の重伝建地区の特徴と保存修理について
講師 熊本大学教授 伊東龍一氏

<第3回>

8月19日(月)コンパルホールで約40名の方が参加。
テーマは、

1. 歴史的建築物の活用に向けた条例整備ガイドライン等
講師 国土交通省住宅局 高木直人氏

<第4回>

8月25日(日)コンパルホールで約40名の方が参加。
テーマは、

1. 改正文化財保護法と民間支援団体の役割
講師 文化庁文化資源活用課 梅津章子氏

<第5回>

9月3日(火)日田市まちづくり歴史交流館ほかで約30名の方が参加。テーマは、

1. 日田市豆田地区伝統的建造物群保存地区における歴史的建造物の修復事例
講師 大分HMネットワーク会員 養父信義氏
2. 歴史的建築物修復の技法・工法(2)
講師 みつまつ塗装代表 三松健次氏
高瀬板金工作所代表 高瀬泰孝氏
3. 耐震木造技術の近現代史～伝統木造家屋の合理性～
講師 関西大学教授 西澤英和氏

<第6回>

10月25日(金)コンパルホール

1. 歴史的建築物の保存活用のマネジメント(事例研修)
講師 歴史的建築物活用ネットワーク事務局 山本玲子氏
2. 歴史的建築物の耐震設計・耐震改修のあり方
講師 香川大学准教授 宮本慎宏氏

【これからの開催分】

<第7回>

11月8日(金)コンパルホール

(予定)

1. 歴史的建築物の耐震設計演習(事例研修)
講師 古民家耐震改修工房K 金山敬氏
2. 歴史的景観とまちづくり
講師 神戸芸術工科大学教授 西村幸夫氏

<第8回>

12月6日(金)大分市内公共施設

(予定)

1. 文化財と防火対策～消防実務からの対策～
講師 元東京消防庁 崎田芳晴氏

2. 文化財と防災対策～消防設備からの対策～
講師 能美防災(株) 田中浩二氏

<第9回>

令和2年2月8日(土)大分市内公共施設
(予定)

1. 保存活用計画の策定(事例研修)
2. 歴史的建造物委員会の仕組みと保存活用の新たな展開
講師 工学院大学理事長 後藤治氏

昇降機等定期検査報告推進委員会

○7月30日(火) 本年度第1回運営会議幹事会

- 1) 平成30年度事業報告等及び令和元年度事業計画等について
- 2) 昇降機等集計表について(報告率等)
- 3) 改元に伴う昇降機等特定報告支援システムの改修について

○8月28日(水) 運営会議と研修会

平成30年度事業報告等及び令和元年度事業計画等について

【運営会議】

- 1) 研修会、講演会の実施
エレベーター等の事故防止、閉じ込め救出訓練等
- 2) 調査研究の実施
- 3) 親睦ゴルフコンペの開催
日時：11月16日(土)
場所：大分サニーヒルゴルフ倶楽部
※詳細が決まり次第お知らせします。

【研修会】

「昇降機の防災力向上研修会～閉じ込め事故に学ぶ～」

講師 大分県住宅供給公社 高橋昌信氏

- ① エレベーターカゴ内への閉じ込め事故における保守点検会社の対応と消防レスキュー隊の救助活動について
- ② 大阪北部地震におけるエレベーターの被害状況と対策の実施状況(資料提供)

○昇降機の閉じ込め事故に関する対応研修会

日 時：11月19日(火)午後

研修会場：県営城南住宅高層棟(大分市)

講師：EVメーカー担当者

参加者：居住者、管理者、EV点検検査事業者、消防署等

青年女性委員会

「おおいた建築セミナーin日田」について

日 時：11月9日(土)

場 所：日田市

※各支部事務局より案内が届いていることと思
います。奮ってご参加ください。

■案内及び報告

案内1

「CPD制度、専攻建築士制度の改正」について

専攻建築士制度については、主として専門分野につ
いて改正し、CPD制度については消費税改正に伴
う料金改定を行うものです。

○専攻建築士制度の改正点

1. 専門分野について

- ① 専攻領域毎に3つまでとしていた専門分野の
表示についてその制限をなくする。
- ② 1つの専門分野の表示に必要な実務実績は責
任ある立場での実務実績1件とする。
- ③ 新たに3つの専門分野を加える。

・歴史的建造物保存活用

歴史的建造物やそれらの街並みの保全、活用を推進

・中大規模木造建築

中大規模木造建築の設計、構造設計、工事監理、
工事管理等

・既存住宅状況調査

既存住宅の構造耐力上主要な部分や雨水に係わ
る部分等について調査

2. 更新に必要なCPD単位数の特例について、専 攻建築士認定後10年とする。

○CPD制度の改正点

1. 消費増税に伴い料金の一部改正

案内2

「改正建築物省エネ法」詳細説明会開催について

改正建築物省エネ法の詳細説明会が建築物の規模別
に全国で開催されます。

説明会では、改正法に盛り込まれた各措置の内容に
加え、省エネ基準や省エネ計算方法のポイント等につ
いても説明が行われます。

1. 対象

住宅・建築物の省エネ化に携わる事業者・審査
者等の方々（建築主、設計業者、施工業者、設
備機器製造業者、エネルギー供給業者、審査機
関、行政庁等）

2. 事業者向け説明会

□小規模（300㎡未満）の住宅・非住宅の関連事
業者向け

・開 催 日：11月19日(火)コンパルホール

12月10日(火)佐伯文化会館

令和2年1月21日(火)中津文化会館

・開催時間：13：00～16：15

・申込方法：WEB（<https://shoene.org/>）
電話、FAX

□中大規模（300㎡以上）の住宅・非住宅の関連
事業者向け

・開 催 日：12月17日(火)県農業会館（大分市）

・開催時間：13：30～16：30

・申込方法：WEB（[https://krs.bz/koushuu-
setsumeikai/m/2019shoene-shosai](https://krs.bz/koushuu-setsumeikai/m/2019shoene-shosai)）
電話、FAX

3. 備考

・参加費は無料です。

※会場や申込方法の詳細は、国土交通省の
HPをご覧ください。

案内3

「建築士定期講習」開催について

これからの講習日程は、以下のとおりです。

日 時：令和元年12月12日(木)

場 所：大分県教育会館

受付窓口：大分県建築士会

※詳細は、建築技術教育普及センターHPをご覧
ください。

建築士事務所所属の建築士の皆様は、定期講習を受
講期限内に受講してください。

案内4

「監理技術者講習」について

大分県建築士会では「毎月第2水曜日」に建設業法に基づく「監理技術者講習」を開催しています。「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」とりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。建築士会のCPD6単位が付与され、総合評価入札等に活用されます。

＜講習会日程＞

- 「毎月第2水曜日」に開催します。
- 時 間：8：50～16：40〔受付8：30開始〕
※8：45～8：50の5分間に講習の運営説明があります。
- 会 場：(公社)大分県建築士会会議室
- 形 式：DVD講習
- 定 員：各回10名程度
- 受講料：WEB申込 9,500円／
窓口・郵送申込 10,000円

※受講申し込みは[日本建築士会連合会HP](#)よりお申込ください。

案内5

「増改築相談員資格取得研修会」開催について

- 日 時：令和元年11月17日(日)8：30～17：30
(新規受付：8時～ 更新/再登録受付：12時30分～)
- 場 所：大分職業訓練センター
- 受講料：新規 25,000円 更新 16,000円
- ※詳しくは、士会HP・別紙チラシをご覧ください。

案内6

「既存住宅状況調査技術者講習（新規・移行）」開催について

- 新 規
日 時：令和元年11月29日(金)
場 所：大分市アートプラザ研修室
受講料：21,600円【WEB申込：21,060円】
- 移 行
日 時：令和元年11月22日(金)
場 所：大分市アートプラザ研修室
受講料：17,280円【WEB申込：16,740円】
- ※詳しくは、士会HP・別紙チラシをご覧ください。

報告1

「第1回理事会」について

5月21日(火)に大分市コンパルホールにおいて第1回理事会が次の内容について開催されました。

- ・平成30年度事業報告に関する件
- ・平成30年度決算報告に関する件
- ・理事の退任及び選任に関する件

報告2

「通常総会」について

6月7日(金)に大分市コンパルホールにおいて総会が次の内容について開催されました。

- ・平成30年度事業報告及び決算の承認
 - ・令和元年度事業計画及び収支予算の報告
 - ・昨年度公益事業紹介
- 竹田支部 / 別府・宇佐支部 / 大分支部

報告3

九州ブロック研究集会「建築士の集い」沖縄大会について

6月22日(土)に石垣島において、「島々独自の歴史・文化・景観～石垣島へおーりとーり！！～」をテーマに開催されました。

報告4

「次世代住宅とポイント制度とリフォーム工事に関する講習会」について

6月26日(水)に大分市アートプラザ研修室において次の内容で開催されました。

- ①次世代住宅ポイントについて ②既存住宅状況調査制度の概要 ③リフォーム工事の基礎知識 ④概算工事費の基礎知識 ⑤既存住宅かし保険、住宅ローンの基礎知識等

報告5

「民法改正と建築士業務に関する研修会」について

7月26日(金)に大分市アートプラザ研修室において次の内容で開催されました。

- ①民法改正内容 ②建築士業務における対策、今後の準備

■会務等行事案内

【11月～3月】(予定)

- 11月2日 県木造建築研究会 講演会
@ 大分センチュリーホテル
講師 建築士会連合会 三井所会長
- 8日 第7回ヘリテージマネージャー研修会
@ 大分市コンパルホール
- 9日 建築セミナーin日田 @日田市
- 10日 磯崎建築の折り紙建築を作ろう
@ 大分市美術館
- 16日 磯崎新展開催記念講演会
@ 大分市コンパルホール
- 16日 昇降機センター親睦ゴルフコンペ
@ 大分サニーヒルゴルフ倶楽部
- 17日 増改築相談員研修会
@ 大分職業訓練センター
- 22日 既存住宅状況調査技術者講習(移行)
@ 大分市アートプラザ研修室
- 23日～24日
プリツカー賞記念・磯崎新の建築をめぐる旅
@ 北九州・山口
- 29日 既存住宅状況調査技術者講習(新規)
@ 大分市アートプラザ研修室
- 12月6日 第8回ヘリテージマネージャー研修会
@ 大分市内公共施設
- 12日 建築士定期講習 @県教育会館
- 令和2年
1月～3月 会員増強特別期間
2月8日 第9回ヘリテージマネージャー研修会
@ 大分市内公共施設



全国の建築士会で受講できます!

改正宅地建物取引業法に対応した



既存住宅状況調査 技術者講習のご案内

改正宅建業法の重要事項説明の既存住宅状況調査をするには
この講習会を修了し、登録されることが必要です。

「既存住宅状況調査」は新たな建築士業務です!!

裏面に大分県の
開催日程を
掲載!!

平成28年6月に宅地建物取引業法が一部改正され、平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」に関する説明が義務付けられます。そして、既存住宅状況調査の実施は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められており、建築士の新たな業務として期待されています。

(公社)日本建築士会連合会は、改正宅地建物取引業法に対応した「既存住宅状況調査技術者講習」を全国で実施します!

- 宅地建物取引業法の改正に伴い、平成30年4月から建物状況調査等に関する措置が施行されます。平成28年6月、宅地建物取引業法が改正され、売主・買主が安心して既存住宅の取引ができる市場環境を整備することを目的に、既存建物の取引に係る情報提供の充実に関する以下の三つの措置が講じられました。これらの措置は、平成30年4月から施行されます。



- 講習修了者には、修了証明書と既存住宅状況調査技術者カード(顔写真入り)を交付します。

※講習修了者の氏名、勤務先等を日本建築士会連合会のホームページで公表します。

※郵送でお申込みの場合は、受講を希望する会場の申込状況をご確認ください。

「日本建築士会連合会」の
ホームページをご確認ください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp>



国土交通省既存住宅状況調査技術者講習登録講習機関第2号(登録日:平成29年3月27日)

公益社団法人 日本建築士会連合会 既存住宅状況調査技術者講習実施本部

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 TEL: 03-3456-2061

『新規講習』のご案内

CPD5単位

- 日 程：令和元年11月29日（金）
- 時 間：受付 9:30～ 講習 9:50～17:15
- 定 員：40名（申込受付順、定員に達し次第締切）
- 会 場：大分市アートプラザ 研修室
- 受講者：建築士（一級、二級、木造）が対象
- 受講料：21,600円【WEB申込：21,060円】
（税込、テキスト・修了証明書交付費用・登録料含む）

【会場までのアクセス】

大分駅から徒歩 10分

バス 大分合同新聞社前下車 徒歩 2分

【駐車場のご案内】

アートプラザ横 荷揚中央駐車場または大分市役所第二庁舎横 荷揚西駐車場をご利用下さい。

※駐車券を必ずお持ちになり、アートプラザを出られる際に2階総合受付にて手続きした場合、ご利用時間のみ無料となります。

講 座 内 容

■講義①:120分

- *既存住宅流通市場の現状と国の取り組み状況
- *既存住宅状況調査技術者の役割
- *既存住宅状況調査の概要
- *公正な業務実施のための遵守事項
- *既存住宅状況調査の手順
- *情報の開示(+処分)
- *既存住宅売買時における調査結果の活用

■講義②:180分

- *既存住宅状況調査方法基準とその詳細(その1)
- *既存住宅状況調査方法基準とその詳細(その2)
- *既存住宅状況調査に付随する非破壊検査その他の調査
- *検査機器

*調査報告書の記入

*住宅の瑕疵の事例

■修了考査:50分

『移行講習』のご案内

CPD3単位

- 日 程：令和元年11月22日（金）
- 時 間：受付 12:30～ 講習 13:00～17:30
- 定 員：40名（申込受付順、定員に達し次第締切）
- 会 場：大分市アートプラザ 研修室
- 受講者：国土交通省の長期優良住宅化リフォーム推進事業のインスペクターとして講習登録団体に登録されている建築士
※建築士会登録以外の、他団体登録インスペクターの方でも受講できます。
- 受講料：17,280円【WEB申込：16,740円】
（税込、テキスト・修了証明書交付費用・登録料含む）

【会場までのアクセス】

大分駅から徒歩 10分

バス 大分合同新聞社前下車 徒歩 2分

【駐車場のご案内】

アートプラザ横 荷揚中央駐車場または大分市役所第二庁舎横 荷揚西駐車場をご利用下さい。

※駐車券を必ずお持ちになり、アートプラザを出られる際に2階総合受付にて手続きした場合、ご利用時間のみ無料となります。

講 座 内 容

■講義①:60分

- *既存住宅流通市場の現状と国の取り組み状況
- *既存住宅状況調査技術者の役割
- *既存住宅状況調査の概要
- *遵守事項、調査の手順、情報開示
- *既存住宅売買時における調査結果の活用

■講義②:120分

- *既存住宅状況調査方法基準とその詳細(その1)
- *既存住宅状況調査方法基準とその詳細(その2)
- *既存住宅状況調査に付随する非破壊検査その他の調査
- *検査機器

*調査報告書の記入

*住宅の瑕疵の事例

■修了考査:50分

【問い合わせ先】公益社団法人 大分県建築士会

(〒870-0045 大分市城崎町1丁目3番31号 富士火災大分ビル3階 TEL:097-532-6607)

住宅リフォーム施工者・設計者 各位

★昨年度も開催し好評でした研修会を今年度も開催いたします！★

「増改築相談員」資格取得研修会

主催：公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター
実施認定団体：公益社団法人 大分県建築士会、大分県建設合同労働組合
大分県室内装飾事業協同組合による共催

★今後、建築・住宅ストックの活用が求められ、既存住宅流通におけるインスペクション等、住宅リフォーム、増改築の需要が高まりつつあります。このため消費者からの増改築相談に対応できる、信頼されるリフォーム工事、リフォーム設計事業者の方々のための資格取得の研修会を開催します。
★この研修会を受講し考査に合格すると、公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センターに「増改築相談員」として登録され、広く消費者の皆様へ信頼される事業者として情報提供されます。



場 所：大分職業訓練センター

日 時：令和元年 11月 17日 (日) 8:30～17:30

(新規受付 8:00～ 更新/再登録受付 12:30～)

受講料：新規 25,000円 更新 16,000円

【研修カリキュラム(予定)】8:30～13:25 (1～4：新規のみ) 13:30～17:30 (5～10：新規及び更新/再登録)

1. 相談・工事の進め方 (60分)	5. 関連融資・住宅の税金 (30分)
2. 性能向上リフォーム等 (100分)	6. 最近のトピック (30分)
3. 住宅の点検と補修 (40分)	7. 関連法規・制度等 (45分)
☆ 昼 食 (45分)：各自でご準備ください。	8. トラブル事例とその対応 (45分)
4. 設備のリフォーム (40分)	9. 介護保険における住宅改修 (30分)
	10. 考査 (30分)

【申し込み方法】

★申込書 (研修会受講申込書 兼 登録申請書) に記入要領を参考にして必要事項を記入し、顔写真 (縦4cm×横3cm) を写真台帳に貼り付けて、下記の (公社) 大分県建築士会事務局宛に **11月6日 (水) までに郵送または支部事務局あて持参**して下さい。

★申込先：公益社団法人 大分県建築士会
〒870-0045 大分市城崎町1丁目3番31号 富士火災大分ビル3F
TEL 097-532-6607 FAX 097-532-6635

★申し込み時に受講料を下記振込先にお振込み下さい。(振込手数料はご負担下さい)

振込先：大分銀行 本店営業部 普通口座 NO.1356856
公益社団法人 大分県建築士会 会長 井上 正文
シャ) オオイタケンケンチクシカイ カイチョウ イノウエマサフミ

広報委員

担当常務理事 〈大分〉 宮 崎 隆 博
委員 長 〈別府〉 籠 田 真一郎
委 員 〈高田〉 清 末 幸 生
員 〈大分〉 後 藤 悟 明
〈津久見〉 濱 野 一 明
〈佐伯〉 志 賀 智 昭
〈日田〉 佐 藤 敏 孝
〈中津〉 松 山 桂 嗣

編集委員

担当常務理事 〈大分〉 宮 崎 隆 博
委員 長 〈高田〉 後 藤 憲 二
委 員 〈大分〉 佐 藤 啓 之
員 〈大分〉 高 橋 大 介
〈大分〉 丹 生 孝 太
〈大分〉 野 村 卓 矢
〈別府〉 小 山 秀 輝
〈臼杵〉 佐 藤 暢 彦
〈津久見〉 竹 田 光 徳
〈佐伯〉 長 田 孝 治
〈佐賀関〉 井 上 雅 順
〈豊後大野〉 伊 東 勇 治
〈竹田〉 江 上 禎 一
〈玖珠〉 白 地 泰 憲
〈日田〉 伊 藤 照 幸
〈中津〉 松 山 桂 嗣
〈宇佐〉 古 市 憲 司

建築士おおいた

2019.10 No. 123

(非売品)

令和元年10月30日 印刷

令和元年10月30日 発行

編集／発行所

公益社団法人

大分県建築士会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 富士火災大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

建築士

おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0625	豊後高田市水取 334 番地 2	0978-22-2216
国東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別府	874-0919	別府市石垣東 1 丁目 9 番 31 号 (株)幸建設内	0977-23-6231
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 富士火災大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼杵	875-0023	臼杵市大字江無田 131 番地 1 (株)高橋設計内	0972-62-4213
津久見	879-2442	津久見市港町 7-22 一級建築士事務所 たかせ ao 内	0972-82-1203
佐伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-22-5008
豊後大野	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 1922-1 2F 高野建設一級建築士事務所内	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日田	877-0026	日田市田島本町 4-1 野村一級建築設計事務所内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇佐	879-0453	宇佐市上田 931-3 宇佐建設会館内	0978-33-3395
本部	http://www.oita-shikai.or.jp/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会